

第41回CCOP年次総会における総合展示会

角井朝昭¹⁾

CCOP (Coordinating Committee for Geoscience Programmes in East and Southeast Asia; 東・東南アジア地球科学計画調整委員会) 年次総会開催期間中の2004年11月15日午後から17日午前まで、同一会場内において、コンベンション形式の総合展示会を開催しました。CCOP年次総会は、各国持ち回りで開催されており、今回で41回目でした。このような企画は初めてのものでし

たが、国内外の多くの地球科学関連の公的機関、企業(第1表)に、ブース出展者として協賛いただくことができました。

展示会場内には、技術セッションのポスター発表、年次総会に参加した各国機関および関連プロジェクトの広報ポスター、産総研内研究者の研究成果ポスターなど(全てのポスターを合わせて約40件)も掲示しました。

展示会初日(15日)の夕刻は展示会場でのコアタイムとし、ブース出展者のみならずポスター掲示者にも、各自の展示物の前での説明をお願いしました。また16日の夕刻は、展示会場内に軽食と飲み物を用意し、リラックスした雰囲気を出展者と議論してもらうようにしました。どちらの時間帯にも全員出席となるような会議はないように配慮されました。

CCOPは、東アジアの地質科学における最大の国際ロビーのような存在です。例年の年次総会には、加盟国および協力国の代表機関や関連業務を所掌する省庁の代表以外に、各種共同プロジェク

第1表 展示ブース出展団体。

国外・国際機関など(4機関)

英国地質調査所(BGS)
CCOP事務局
CCOP GAIN (Geoscience Asian Information Network) Project
国際惑星地球年(GSJブース内に展示)

国内学会など(3機関)

日本地下水学会
物理探査学会
(社)全国地質調査業協会連合会

国内機関・企業(10機関)

国土地理院
海上保安庁海洋情報部
(独)新エネルギー産業技術総合開発機構
(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構
(独)海洋研究開発機構
(財)資源・環境観測解析センター
地熱技術開発株式会社
日鉱探開株式会社
日鉄鉱コンサルタント株式会社
鉱研工業株式会社

(独)産業技術総合研究所(4ユニット)

植物成長剤開発応用連携研究体
爆発安全研究センター
グリッド研究センター
地質調査総合センター(GSJ)



写真1 展示会場の様子1. 11月15日コアタイム。

1) 産総研 広報部 地質標本館

キーワード: CCOP, 年次総会, 展示会

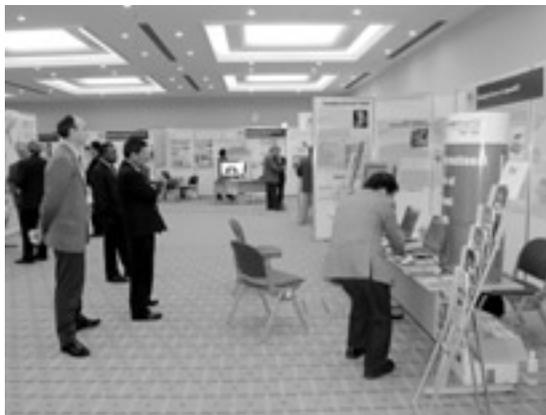


写真2 展示会場の様子2. 画面右側が地質調査総合センターの出展ブース,

トに参加している国営石油企業や主要大学, 国際機関の代表者などが多数参加します. したがってCCOP年次総会は, CCOP加盟国との共同プロジェクトや, 東アジアでの多国間プロジェクト(およびそれらの企画者)にとっては, 絶好の広報チャンスです. このような場を, 日本国内の地球科学関連機関や企業に活用していただきたいというのが, 本展示会に関する我々の企画意図でした. 丸2日間という短い会期ではありましたが, そのような我々の企画は概ね成功だったと思います. 会議が開かれている間は, 参加者のほとんどが議場内に詰めて



写真3 展示会場の様子3. 画面右側の壁沿いのパネルがポスター掲示スペース.

いたため, 展示会場が混み合うことはありませんでしたが, 会議の合間の休憩時や上記のコアタイムなどには, 多数の会議参加者に来場され, 展示物を熱心に見ておられました.

会場日程などの都合から, 出展機関各位には短時間での設営と撤収作業をお願いし, また当方の不手際からいろいろと御迷惑もおかけしました. 最後になりますが, この場を借りて御礼とお詫びを申し上げます.

SUMII Tomoaki (2005) : Geoscience Convension.

<受付: 2005年1月14日>